

# 環境通信 第15号 (1月号)

令和3年1月発行 (年4回発行) ・発行元: 大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議

アスマるくんとみらいさんが「COP26」について話しているようです。その様子をのぞいてみましょう。

**登場人物**

**みらいさん**  
…環境問題について気になりはじめた社会人1年生

**アスマるくん**  
…大分市地球温暖化防止キャラクター  
「地球(アース)の明日(あす)をまもる」ため、大分市にやってきた。環境問題や地球温暖化対策にくわしい

**「COP26 (国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)」について**

**みらいさん** この前のニュースで、「COP26」のことについて話していたけど、一体何のことだろう？

**アスマるくん** よーし！今日はCOP26について一緒に学んでいこう！

**アスマるくん** まずはそれが何なのかを説明するね。

**みらいさん** はい。

## COP26とは

COP26とは、「国連気候変動枠組条約第26回締約国会議」の英語の頭文字を取った略語で、年に一度、世界の気候変動問題について議論する会議です。近年は、年々上昇する地球の温度と、それに伴い激しさを増す自然災害、南極の氷が溶けることによる海面の上昇など、数々の現象によって地球と地球に住む様々な生き物の生存が危うくなっている状態を前に国際社会がどのような対策を取るのか話し合っています。

第26回会議は、190以上の国や地域の代表、世界中のNGO (非政府組織)、報道関係者ら約2万3000人が参加し、イギリスのグラスゴーで2021年10月31日から11月12日まで開催されました。

？

何だか難しそうな感じの会議だね。この会議では結局どんなことが決まったんだろう。

ぼくが一部を簡単にまとめてみたから、一緒にみてみよう！

## COP26では何が決まったのか？ポイント5つをチェック！

- 1** 「産業革命 (18世紀) 前からの気温の上昇を **1.5°C** に抑える」ということが世界共通の目標に  
2015年に採択されたパリ協定での目標は「2度未満、できれば1.5度に抑える」という努力目標だったけど、今回の会議で共通目標へと前進したよ。そのためには、今世紀中頃に温室効果ガスの排出を実質ゼロ、途中の2030年には2010年度比で45%削減する必要があることも明記したんだ。
- 2** 「石炭火力発電の段階的削減」、「化石燃料への補助金の段階的廃止」の努力を加速  
日本は石油や石炭などのエネルギー源の約9割を輸入に頼っているから、再生可能エネルギー(※)みたいな環境に優しいエネルギーを増やしていくことが大切だね。  
(※)再生可能エネルギー：太陽光や風力、水力、地熱、バイオマス発電などの、資源が枯渇せず繰り返し利用できるエネルギー
- 3** 温室効果ガス削減目標を2025年に2035年目標、2030年に2040年目標を通報 (以降、5年毎に同様) することを奨励  
**将来**
- 4** 2025年以降新たな途上国支援の数値目標の議論を開始。新たな協議体を立ち上げ、2024年まで議論することとなった。
- 5** パリ協定第6条 (市場メカニズム) のルール完成  
「パリ協定第6条 (市場メカニズム)」というのは、温室効果ガスの削減量を売買できるルールだよ。例えば、日本が資金を援助して途上国でCO2を100削減したとして、このうちの50を日本の排出が減ったことにできる、といったものなんだ。

産業革命前からの気温の上昇が1.5度と2度での影響の違いはどれくらいあるんだろう。あんまり違いがないような気がするけど。

お、いいところに気が付いたね。実際にどんなことが起こる可能性があるか説明してあげるよ！裏面を見てごらん。

お願いします。

裏面につづく

# 気温上昇2度と1.5度のちがい

## ●洪水のリスク

2005年までの30年間で基準に、洪水による影響を受ける人口は、1.5度だと100%増、2度だと170%増加する。

## ●海面上昇

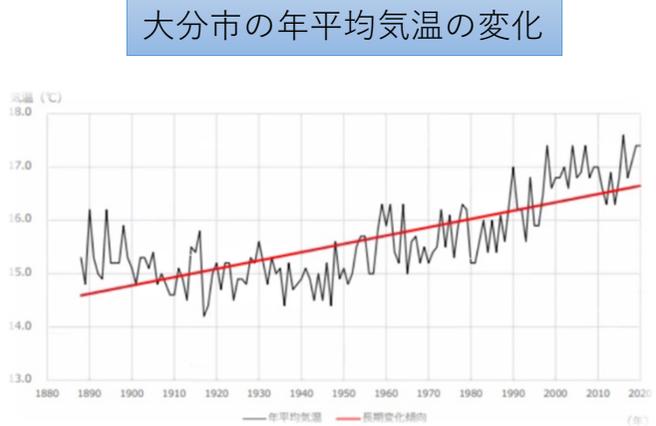
2100年までの海面上昇は、気温上昇が2度の場合よりも、1.5度の場合の方が約0.1メートル少なくなり、関連するリスクにさらされる人は最大1千万人減少する。

## ●永久凍土の融解

地球温暖化を2度ではなく、1.5度に抑えることによって、150万～250万平方キロメートルの範囲の面積において、永久凍土の融解を何世紀にもわたり防ぐ。

## ●サンゴ礁の消失

1.5度だと70%～90%減少、2度だと99%以上減少する。  
(IPCC「1.5°C特別報告書」より)



英国気象庁では、1850年から1900年までを「産業革命前」と定義している。

IPCCとは・・・  
「気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change）」と呼ばれる国際的な組織で1988年に世界気象機関（WMO）と国連環境計画（UNEP）によって設立されました。世界66か国から200人以上の専門家が集まり、たくさんの論文や観測・予測データを基に報告書を作成し、数年ごとに世界へ発表しています。IPCCの活動は、「人為的に起こる地球温暖化の認知を高めた」ことが高く評価され、2007年にノーベル平和賞を受賞しました。

## 「省エネ（地球温暖化対策）懇談会」

- 内容** 市職員などが直接、集会等にお伺いし、省エネ生活や地球温暖化対策などについてお話しします。
- 講師** 市職員もしくは地球温暖化対策おおいた市民会議委員
- 実施時間** 30分～1時間程度
- 会場** 開催団体でご用意ください。
- 問い合わせ先** 大分市 環境対策課 環境保全担当班  
電話097-537-5758 E-mail kankyotai5@city.oita.oita.jp